

## 「イノベーション探究Ⅱ」～グローバル・ジャスティスプログラム～ 第 15, 16 回

### 1. 実施日

令和4年1月22日(土)・29日(土) 1・2限

### 2. 場所

333、334 教室、物理講義室

### 3. 対象

グローバル科2年生(6・7組)

### 4. 講師

鳥羽高等学校 教諭 宇川和余 佐々木啓成 中澤知里 宮崎雄史郎

### 5. 内容

#### 「研究ノート」(研究グループ論文)作成

#### (1) 冬課題「研究ノート」作成のためのワークシート グループ共有

各自が冬休みに作成したワークシートをグループで輪読する。年末に作成した「研究報告書」Ver. 3＝「研究ノート」に向けた研究概要をもとに、RQ1～6まで順番に読んでいき、①内容として一貫性があるか ②「1. 研究の動機・問題の背景」および「4. 現時点での仮説」「5. 仮説検証に向けた展望」と繋がりが明確で、グループの論文として論旨が明快であるかを確認する。その後、各自がワークシートの内容の再検討や修正等をおこなう。

#### (2) 「研究ノート」作成開始

順序1: 教員が teams 上にアップしたフォーマットに、各自が自分の RQ の原稿を打ち込んでいく。(「研究ノート」第2章第2節の完成)

順序2: 終わったものから分担・協力して、「第1章 研究の動機・問題の背景」「第3章 考察」「参考文献」を作成する。

順序3: 完成した論文をグループで一読し、論が破綻している箇所や説明が不十分な箇所をチェックし、加筆・修正してブラッシュアップする。

### 6. 学び

リサーチクエスチョンを立て、仮説を構築するまでのプロセスを文章化しつつ、研究グループとしての考察を行う。研究の表題を考える作業やパラグラフ・ライティングをとおして、大阪大学アカデミック・ライティング講座での学びを応用する。

### 7. 次回への課題

「研究ノート」に必要な資料・データ等を整理し、次回までに完成させる。

### 8. 本時の振り返り

冬休みの間に、2学期に作成した研究報告書にある「研究の目的・方法・結果」について、各担当者がまとまりのある文章を作成することになっていた。この授業では、持ち寄った文章をグループ内で共有し、「研究の動機・問題の背景」、「現時点での仮説」、「仮説検証に向けた展望」との繋がりが明確であるのかについて議論をした。